**教育研究業績**

**A．教育業績**

|  |  |
| --- | --- |
| 領域 | 内容 |
| １）教材開発 | 教材開発は、著書（テキストを含む）や教材・教具等の開発等を指し、以下の内容書くこと。著書（テキストを含む）の場合の記載例・単著の場合：名前(発行年)『著書タイトル』, 出版社, 総ページ数, ・共著の場合：名前(発行年)「章タイトル」編者『著書タイトル』, 出版社, ページ数教材・教具等開発の場合の具体例【著書（テキストを含む）】1. 名前〇〇〇〇 (2014)「第8章　〇〇〇〇」〇〇〇・〇〇〇編著『新版〇〇〇〇』〇〇〇社, 121-136。

【教具の開発等】1. 名前〇〇〇〇 (2014)教具名〇〇〇〇, 〇〇〇社。
 |
| ２）教育活動 | 教育活動は、大学等（専門学校・大学院等を含む）における講義等を機関ごとに年月の古いものから順に記載する。同一機関では科目ごとに、科目名、対象学部等、期間（開始・終了年月等）などを記す。必要に応じて科目の概要について（演習・実習等の授業形態，共同授業の場合の担当分など）簡潔な説明を付けてもよい。担当科目が多数または担当機関が多年にわたる場合は、ある程度まとめて記述してもよい。また、講義概要を示す必要はなく、担当講義リストを記載すればよい。その他教育活動上で特記すべき事項について、例えば、教育上のプロジェクトへの参加状況、FDなど教育方法・教育実践に関する発表・講演、弁論大会・ゼミナール大会なども記述してもよい（講義概要は示す必要はない）。【〇〇大学〇〇学部】* 〇〇論　　（2単位）2013春～現在まで
* 〇〇原理Ⅰ（4単位）2011秋～2015年秋

【本務校等常勤職に在職期間中の非常勤講師等】* 〇〇論（2単位）2008春～2010秋：〇〇大学〇〇学部

【招待講義（国内、国外）】* 〇〇〇〇（〇〇〇〇大学）（対象：〇〇学部修士学生〇名）、講義名〇〇〇〇（2017年9月25日）
 |

**B.研究業績一覧**

**（著書・学術雑誌・学会発表）**

* 業績等は著書・学術論文・学会発表など、分類ごとに年月の古いものから順に通し番号を付ける。論文集のような単行書に収録された業績は論文の分類に含めて扱う。シンポジウムや学会での講演（教育講演を含む）・パネリストは「C. 社会活動」に該当する。セミナー発表等は含まれない。
* 書式に従い、著書・学術論文・学会発表について、明示すること。
* 著書、学術論文等の名称の欄には、著書や論文のタイトルを明示すること。単行書の共著で分担執筆の場合は、担当分の（章の）題名を明記すること。査読を経て公刊された業績は末尾に「（査読付）」または「（refereed）」と明示する。
* 単著、共著の別の欄には、「単著」「共著」を記したうえで、「（著者順）」を明示する。責任著者の場合は、その旨も記載する。
* 発行又は発行の年月の欄には、著書や論文等が発行された年月を西暦で示す。
* 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称の欄には、発行所や、雑誌名、発表学会の名称に加えて、執筆担当のページ数を明記すること。巻や号がある場合はそれも表示する。大学が発行している紀要の場合は大学名も明示する。
* 概要の欄には、業績の概要を明記し、著者を明示する。論文等が単著の場合は著者名を省略してもよい。共著の場合は原則として共著者全員の氏名を順に書く。学会発表等が単独発表の場合は発表者名を省略してもよい。共同発表の場合は原則として発表者全員の氏名を順に書く。共著者が著しく多い場合は最初の数人だけを書いて残りは「〇〇他」または「〇〇et al.」のように略してもよい。著書のISBN、論文のURL及びDOIがある場合は概要欄に必ず明示する。
* 区分表記の欄には、（様式1）と対応するように、研究論文等には「区分表記（通し番号）」を付与すること（例　博士学位論文（B1）、研究書（B2-1～）、国際誌（B3-1～）、全国誌（B4-1～）、地方誌（B5-1～）、大学等紀要（B6-1～）、科学研究費（B7-1～））。研究論文等の区分については、『応募書類の作成・提出について』に記載している基準に従うこと。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 著書、学術論文等の名称 | 単著、共著の別 | 発行又は発表の年月（※西暦） | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 | 区分表記 |
| （著書） |  |  |  |  |  |
| １．題名〇〇〇〇 | 単著 | ○年〇月 | 〇〇〇出版pp.1～348 | 本書は、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇…。ISBN　〇〇〇〇〇 | B2-1 |
| 適宜追加すること |  |  |  |  |  |
| （学術論文） |  |  |  |  |  |
| １．題名〇〇〇〇〇〇 | 単著 | 〇年〇月 | 〇〇大学「〇〇〇」（第〇号）pp.〇～〇 | 本稿は、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇…。https://doi.org/10.〇〇〇〇  | B6-1 |
| ２．Title〇〇〇〇〇〇 | 共著 | 〇年〇月 | Journal of 〇〇〇〇pp. 〇-〇. | This study 〇〇〇〇〇〇〇〇….（Auther 〇〇〇〇, 〇〇〇〇　et al.）http://www. 〇〇〇〇〇〇 | B6-2 |
| 適宜追加すること |  |  |  |  |  |
| その他（学会発表） |  |  |  |  |  |
| １．〇〇学会〇〇大会 | 単独報告 | 〇年〇月〇日 | 〇〇学会『〇〇要旨集』pp.〇～〇. | 本書は、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇…。 |  |
| ２．第〇回〇〇大会 | 共同報告 | 〇年〇月〇日 | 〇〇学会 | 概要〇〇〇〇〇著者〇〇〇〇・〇〇・〇〇 |  |
| 適宜追加すること |  |  |  |  |  |

**（科学研究費）**

a) 研究代表者

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 | 区分表記 |
| 課題名：〇〇〇〇〇〇〇〇、課題番号：〇〇〇〇〇、科研費区分：基盤(C)、 研究機関：〇〇大学、〇〇年～〇〇年 | B7-1 |
|  |  |

b) 研究分担者

|  |  |
| --- | --- |
| 課題名：〇〇〇〇〇〇〇〇、課題番号：〇〇〇〇〇、科研費区分：若手(B)、 研究機関：〇〇大学、〇〇年～〇〇年 | B7-3 |

**C．社会活動・社会貢献**

|  |  |
| --- | --- |
| 領域 | 内容 |
| １）行政機関に関する役員・委員 | 中央行政機関に関する役員・委員(傘下機関を含む)、若しくは地方自治体（都道府県若しくは区市町村）の〇会長及び代表理事、役員、委員長、委員について、それぞれ業績を明示し、その期間についても明示すること。【委員長】* 独立行政法人〇〇〇〇　〇〇委員会（2020.11.～現在）
* 〇〇県〇〇〇〇委員会（2000.4～現在）
* 〇〇市〇〇〇〇選定委員会（2016.8.～2016.11.）

【委員】* 〇〇〇省〇〇〇〇　〇〇委員会（2008.4.～2009.3）
* 〇〇市〇〇〇〇審査（審査委員）（2019.7-2019.9）
* 〇〇市〇〇〇〇審査（評議員）（2020.7.～現在）
 |
| ２）学会・団体等の役員・委員 | 国際学会または国内学会の会長及び代表理事、役員、委員長、委員についてそれぞれ業績を明示し、その期間についても明示すること。その他、学会以外の法人役員（役員報酬を伴わないものに限る）も該当すれば明示すること。【会長】* 〇〇〇〇Society, Chair（2020.7.～現在）
* 〇〇学会、会長（2020.4～2021.3）

【委員】* 〇〇〇〇Society (Journal of 〇〇〇〇), Editorial board（2000.4～現在）
* 〇〇学会（〇〇雑誌）、編集委員長（2020.7.～現在）
 |
| ３）論文査読 | 雑誌名および巻号、国際誌・全国誌・地方誌・大学紀要等について明記すること。また、大学紀要の場合は大学名も明記すること。2020年（〇本）* 〇〇〇〇紀要（〇〇大学）第〇集、大学等紀要
* 〇〇〇〇雑誌〇巻〇号、全国誌

2021年（〇本）* Journal of 〇〇〇〇（Vol.〇）、国際誌
 |
| ４）学会運営・国際交流 | 学会・研究会などの大会長及び実行委員長、実行委員についてそれぞれ明示し、団体名や期間、国際学会・全国学会・地方学会の区分についても明記すること。国際交流は、役割等を含め実績を明記すること。【大会長】・〇〇学会〇〇大会大会長、〇〇年、全国学会【実行委員長】・〇〇〇〇Conference、Chair、〇〇年、国際学会【実行委員】・〇〇学会〇〇大会実行委員、〇〇年、地方学会【国際交流】・〇〇大学協定校 国際学術シンポジウム（単独報告）論題〇〇〇〇、〇〇研究所（〇〇大学校, 国名〇〇）〇〇年〇月〇日・〇〇〇〇協定締結、協定名〇〇〇〇〇〇、国名、〇〇年〇月〇日 |

**D．産学官協力・共同**

|  |  |
| --- | --- |
| 領域 | 内容 |
| 研究実績 | １）外部研究費等の獲得総額（科研費を除く） | 団体名および獲得総額を明記すること。* 〇〇〇〇株式会社共同研究、研究題目〇〇〇〇〇〇〇、総額〇万円
* 〇〇〇財団、〇〇〇〇研究費、総額〇万円
 |
| ２）特許登録 | 特許情報に基づき、出願番号、発明の名称、出願人を明記すること。* 特願〇〇-〇〇、名称〇〇〇〇〇、出願人〇〇
 |
| 社会活動 | ３）現場研修・教育研修等 | 以下のa)～e)に該当する実績がある場合は明記すること。記載例は、「応募書類の作成・提出について」を参照のこと。a)産業現場研修／技術教育研修b)産業を対象とした経営及び技術指導c)産学協力機関の活用d)産業との契約による教育組織の設置及び運営e)奨学金及び寄付金の確保 |

**E．受賞実績**

* 受賞団体、最優秀賞・奨励賞などの賞の名称、受賞年を明記すること。

|  |
| --- |
| 名　称（団体名、受賞年） |
| * ○○協会論文賞（○○協会、2018年）
* ○○学会奨励賞（○○学会、2021年）
 |

**F．その他（学内委員等）**

* 学内委員や特記すべき業績について役職や期間など簡潔に明記すること。

【学内委員】

* 〇〇大学〇〇学部学部長（2011.4.～2012.3、2015.4.～2017.3.）
* 〇〇大学〇〇学部〇〇委員会委員長（2013.4.～2015.3）
* 〇〇大学全学〇〇委員会委員（2013.4.～2015.3）